

田村正夫先生著作目録

著書・編著・分担執筆

- 1963 年 『近世関東の歴史地理』（山崎謹哉編）明玄書房，第3章「江戸および近郊の農・工業分布」
- 1966 年 『日本の歴史地理』（浅香幸雄編）大明堂，第Ⅶ章第2節「農業地域構造の再編と展開」・第3節「近代鉱工業の形成」
- 1967 年 「日本製糸業の地域的展開」東京教育大学理学部提出（博士論文）
- 1972 年 『産業化地域論』明玄書房
- 1973 年 『世界地名大事典1』（渡辺光ほか編）「カークウォール」ほか，朝倉書店
『世界地名大事典2』（渡辺光ほか編）「シティ」ほか，朝倉書店
『世界地名大事典3』（渡辺光ほか編）「ペイズリー」ほか，朝倉書店
- 1976 年 『商業地域の形成—首都通勤圏北西境—』文化書房博文社
- 1981 年 『日本地誌要説』（山崎謹哉・佐伯岩男と共編），古今書院
- 1983 年 『商業地域の形成—改訂増補版—』文化書房博文社
- 1988 年 『新版 日本地誌要説』（山崎謹哉・佐伯岩男と共編），古今書院

論文・報告等

- 1954 年 近郊農村の歴史地理学的研究—近世に於ける江戸東郊の場合—，「地理学評論」27巻2号
近郊地域の歴史地理学的研究（第2報 近郊漁村）—近世，江戸の場合—，「新地理」2巻3号
運輸革命以前における近郊宿場町—市川市八幡町を中心に—，（近郊地域の歴史地理学的研究 第3報），「新地理」3巻2号
- 1955 年 都市の工業地域構造に関する地理的考察—東京の場合—，「新地理」3巻4号

セイロン及びコロンボプラン,「新地理」4巻2号

1963年 明治初期の繊維産業に関する一考察,歴史地理学会「会員通信」20号

1964年 明治前期における製糸業地域,歴史地理学会「会員通信」24号
埼玉県における明治初期の繊維産業,「歴史地理学紀要」6号

1965年 明治後期における製糸業地域の変貌,歴史地理学会「会員通信」29号

東北地方北部における明治初期の開発政策—特に蚕糸業との関連において—,「歴史地理学紀要」7号

1969年 明治前期における綿織業に関する一考察,「歴史地理学紀要」11号

1970年 北陸における明治前期の繊維産業—織物業を中心に—,「歴史地理学紀要」12号

1971年 「江戸干鰯問屋と浦賀干鰯問屋の集荷圏の係争に関する歴史地理学的研究」に対する「所見」,歴史地理学会「会員通信」61号

1972年 首都圏の都市成長前線帯における商家の形成Ⅰ—埼玉県毛呂山町の場合—,歴史地理学会「会員通信」64号

日本製糸業の地域的展開,「城西経済学会誌」8巻1号

1973年 首都圏都市成長前線帯における小売商の形成—埼玉県毛呂山町長瀬団地の場合—,「歴史地理学紀要」15号

首都圏の都市成長前線帯における小売商地域の形成(Ⅱ)—埼玉県毛呂山町の場合—,「城西経済学会誌」9巻1号

1974年 「割替制度の成立」,「幕藩制下の農業」,「明治期における北海道移民の送出地域の分析」に対する「所見」,「歴史地理学会会報」72号

書評 板倉勝高著『都市の工業と村落の工業』「歴史地理学会会報」74号

首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成(Ⅲ)—埼玉県坂戸町「きどうち」の場合—,「城西経済学会誌」10巻1号

首都圏の都市成長前線帯における衣料品商の形成—埼玉県坂戸町

- 「きどうち」の場合一,「地理」19 卷 6 号
 首都圏の都市成長前線帯における家具・機械商の形成一埼玉県坂戸町「きどうち」の場合一,「地理」19 卷 9 号
- 1975 年 「近世九十九里浜における不漁に対する領主と漁民の行動のちがい」に対する「所見」,「歴史地理学会会報」80 号
 「大和十津川地域における明治 22 年の水害」に対する「所見」,「歴史地理学会会報」80 号
 「自然堤防集落の水害事例」に対する「所見」,「歴史地理学会会報」80 号
 首都圏の都市成長前線帯における文化品商の形成一埼玉県坂戸町「きどうち」の場合一,「関東都市学会年報」Ⅱ号
 「地方小都市における商店街の変遷一富岡市の場合一」に対する「所見」,「歴史地理学会会報」82 号
 首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成一埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較一,「城西大学 10 周年記念論文集」(「城西人文研究」3 号)
- 1976 年 埼玉県における二〇世紀初頭の織物商分布,「歴史地理学会会報」88 号
- 1977 年 首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成一埼玉県坂戸町「きどそと」を中心に一,「城西経済学会誌」12 卷 1・2・3 号
 首都圏の都市成長前線帯外縁部における商業地域の形成一埼玉県越生町の 1883~1902 年の変容をめぐって一,「城西大学教養関係紀要」1 卷 1 号
 埼玉県における二〇世紀初頭の織物商分布,「歴史地理学紀要」19 号
- 1978 年 小川紙とその取引商人,「歴史地理学会会報」95 号
 首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成一飯能市の 1880~1890 年の変容をめぐって一,「城西大学教養関係紀要」2 卷 1 号
 大都市小規模工場の集団化一東京を中心として一,「地理学評論」51

卷4号

書評 辻本芳郎著『日本の在来工業—その地域的研究—』,「新地理」
26 卷1号

坂戸市・毛呂山町・越生町巡検記録,「歴史地理学会会報」98号

1979年 「明治期における中心地の階層的配置」に対する「所見」,「歴史地理
学会会報」101号

首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成—飯能市における
1880～1890年の店舗規模・納税額を中心に—,「城西大学教養関係紀
要」3巻1号

日用・食料品商の建家と営業税—飯能における1880年代の種目別考
察—,「歴史地理学会会報」105号

1980年 首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成—埼玉県飯能市に
おける1880年代のサービス業・繊維品商を中心に—,「城西大学教
養関係紀要」4巻1号

1981年 首都圏の都市成長前線帯における商業地域形成の種々相—埼玉県毛
呂山町長瀬第一団地の場合—,「城西経済学会誌」17巻1号

1984年 解題(都市・村落関係の歴史地理),「歴史地理学紀要」26号

1988年 日本におけるプロト産業化期の地域活性化(1)—群馬・埼玉両県の公
立小学校の授業料・教員数を手がかりに—,「城西大学大学院研究年
報」4号

1990年 日本におけるプロト産業化期の地域活性化(2)—群馬・埼玉両県にお
ける公立小学校立地集落の最高活性化—,「歴史地理学紀要」32号

1991年 日本におけるプロト産業化期の地域活性化(3)—群馬・埼玉両県にお
ける公立小学校立地集落の最低活性化—,「歴史地理学」153号

1992年 日本におけるプロト産業化期の地域活性化(4)—長野県における公立
小学校立地集落の活性化—,「歴史地理学」158号

1993年 日本におけるプロト産業化期の地域活性化(5)—新潟県(越後)にお
ける公立小学校近接集落の活性化—,「歴史地理学」165号

そ の 他

- 1984 年 本当の勉強はその時に始まる,「じょうさい」26 号
- 1986 年 学問はホンネでやるものと心得た 41 年—ホンネとタテマエの逆転に
思う一,「城西大学経済学会報」2 号
- 1987 年 随想,「種まき」4 号
- 1988 年 二月二十三日の日記から,「種まき」5 号
- 1989 年 壮年会,「種まき」9 号
- 1990 年 感銘に残った言葉,「種まき」13 号

目録の作成には,竹内憲一氏・西塚和音氏(ともに城西大学田村ゼミナール卒業生)の協力を得た。

(小口千明 記)